

科目名	メイクアップ基礎(実習)		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	JMA検定教科書に沿い、お客様にとって心地よいメイクの施し方を学習する。 メイクの技術の他に、道具の扱い方・身だしなみ・声かけ等も習得し、メイクアップの楽しさを学ぶ。							
授業の一般目標	JMA3級取得 スキんケアからベースメイクのテクニックの習得							
受講条件	出席80%以上が前提となる。出席時間不足のための補習は行なわない。本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	メイクアップ技術検定試験JMA公式テキスト 3級・2級							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	顔のゴールデンバランスについて説明ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	モデルのパーツバランスを分析し、メイクプランを考えることができる							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	日常生活においてメイクに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	1 ポイントクレンジング～ベースメイクが30分までできる。2、基本バランス合わせたリクルートメイクができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1週	オリエンテーション・化粧品の説明	授業のルールについて・化粧品検品・検定概要について						
第2週	セッティング・ポイントクレンジング	セッティング・ポイントクレンジング						
第3週	全体クレンジング・化粧水・プライマー	ポイントクレンジング復習・全体クレンジング、化粧水・プライマーの手技						
第4週	ベースメイク実習1	コントローラー・ファンデーションテクニック						
第5週	ベースメイク実習2	コンシーラー・フェイスパウダーテクニック						
第6週	チーク・ローライト・ハイライト	チーク・ローライト・ハイライト実習						
第7週	タイム計測・チークのバリエーション	ポイントクレンジング～ベースメイクタイム計測・チークのバリエーションについて						
第8週	タイム計測・アイシャドウ基礎	ポイントクレンジング～ベースメイクタイム計測・アイシャドウ実習						
第9週	タイム計測・リップ基礎	ポイントクレンジング～ベースメイクタイム計測・リップ実習						
第10週	JMA3級試験	JMA3級試験実施						
第11週	フルメイク実習①	宝塚メイク実習						
第12週	フルメイク実習②	リクルートメイク実習						
第13週	フルメイク実習③	トレンドメイク実習						
第14週	期末試験対策	期末試験のポイント・復習						
第15週	期末試験	期末試験実施(実技・筆記)						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 日本メイクアップ技術検定3級取得を卒業要件とする (1)授業内で小テストを行う (2)課題・レポート提出をする (4)期末試験を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		70	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎		○		10	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点～70点
授業態度			○	◎			20	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	メイクセラピー基礎		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義/実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学、実技の授業 テキストの他、学習プリントで検定試験の出題ポイントを得得する メイクセラピーの知識と技術を習得する							
授業の一般目標	メイクセラピー検定3級合格 メイクによる心理的効果を学び、メイクが外的・内的の向上に役立つことを理解する メイクテクニックを習得し、オーダーに伴った印象にセルフメイク(印象管理)が出来るようになる。							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない。本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	メイクセラピー検定3級対策テキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	メイクセラピーの目的・役割・流れについて説明ができる							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	日常生活の中でメイクセラピーに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	積極性と主体性を持った謙虚な振る舞いができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	セルフメイクでキャリア系・癒し系メイクができるようになる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	メイクセラピーとは	オリエンテーション メイクセラピーの目的・役割を理解する						
第2回	メイクセラピーの手法	メイクセラピーのカウンセリングの必要性						
第3回	顔と心と化粧の関係	表情・感情・化粧をする理由						
第4回	スキンケア概論	肌タイプ、表情筋、スキンケアについて						
第5回	カウンセリング概論	カウンセリングの意義や基本テクニックについて 小テスト						
第6回	カウンセリング実習	傾聴スキルを用いたカウンセリング実習						
第7回	メイクアップ概論	パーツバランス、印象について・授業アンケート						
第8回	メイクアップ概論②	色彩、コスメティックの質感について						
第9回	セルフメイク実習①	セルフメイク基礎(ポイントメイク)						
第10回	セルフメイク実習②	印象に伴うメイク(キャリア系・癒し系メイク)						
第11回	3級対策	3級試験対策、小テスト						
第12回	3級試験対策(模擬テスト)	3級対策(過去問)						
第13回	メイクセラピー検定3級試験	メイクセラピー検定3級試験実施						
第14回	期末試験対策	1～13の復習						
第15回	期末試験	筆記試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、小テスト15%、提出物&授業態度点15%、を換算して総合評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎				15	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点～70点
授業態度			○	◎	○		15	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	メイクアップⅠ(理論)		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学中心の授業 メイクアップ、スキンケア、化粧品、皮膚、顔分析、メイクアップの修整方法などのメイクアップ知識の習得							
授業の一般目標	(1)日本メイクアップ知識検定アドバンス取得 (2)メイクアップ、スキンケア、化粧品、皮膚、顔分析、メイクアップの修整方法などのメイクアップ知識が説明できる							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	日本メイクアップ知識検定アドバンス公式テキスト・問題集							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション	授業に関するルール・検定について・復習(確認テスト)						
第2回	顔の成り立ち①	骨格・筋肉・皮膚、皮膚の生理作用						
第3回	顔の成り立ち②	スキントイプ・季節と肌 紫外線と肌						
第4回	化粧品学	化粧品の定義						
第5回	顔バランスと印象①	顔のバランス、肌色の印象						
第6回	顔バランスと印象②	印象の分類						
第7回	メイクアップ理論Ⅰ①	メイクアップの効果 色彩とメイクアップ						
第8回	メイクアップ理論Ⅰ②	メイクアップの質感・形とイメージ・錯視効果						
第9回	メイクアップのテクニック	ベースメイク・ポイントメイク・メイクカラーの混色						
第10回	メイクアップのイメージ理論	メイクアップの強弱とイメージのポイント						
第11回	顔分析と修整メイク	メイクアップのバランス調整・加齢による顔の変化とメイクアップ						
第12回	メイクアップ理論Ⅱ	光源とメイクアップ 男性の肌 アイラッシュ						
第13回	模擬試験	総復習 模擬試験						
第14回	日本メイクアップ知識検定アドバンス試験	日本メイクアップ知識検定アドバンス試験実施						
第15回	期末試験	筆記試験						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テストを数回実施する (3)授業内で課題を提出する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		70	秀(S):100点~90点
小テスト	◎	○	◎		◎		20	優(A):89点~80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点~70点
授業態度			○	○			10	可(D):69点~60点
発表・作品					○		評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	メイクアップⅠ(実習)		単位数	2	科目コード			
授業形態	講義実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	座学・実技中心の授業(講師デモンストレーション・学生実習) メイクアップの基礎知識・ベーシック～応用技術・アイテムの知識・人間性・マナー・感性を土台に、能力の向上を目指す。JMA検定を学びながら、基本に忠実な本物の技術、顧客や社会のために誠実な思いを持って提供し喜びをもたらす職業としてメイクアップに携わることの尊さや誇り、美しさを志向します。							
授業の一般目標	(1)日本メイクアップ技術検定2級取得。 (2)モデルの顔分析をし、基本のバランスにフルメイクができるようになる (3)メイクアイテムを正しく理解し、用途に応じて使い分けができる							
受講条件	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
事前学習について (テキスト・参考書等)	日本メイクアップ技術検定試験3級・2級公式テキスト・YICオリジナル教材							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	メイクに関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中でメイクについて主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点	1. モデルの骨格に合わせた基本バランスにフルメイクができる							
授業計画(全体)								
基本的な知識を修得し応用に発展する。								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	オリエンテーション・復習・手技確認	授業に関するルール・JMA2級検定について手技確認						
第2回	顔分析・ベースメイク	顔分析・ベースメイク・実技						
第3回	スキンケア実習	スキンケア・マッサージ ベースメイク応用						
第4回	ポイントメイク実習①	スキンケア～ベースメイク復習 アイブロウ実習						
第5回	ポイントメイク実習②	アイブロウ応用・アイメイク実習						
第6回	ポイントメイク実習③	目元応用 リップ チーク						
第7回	修整メイクアップ・2級通し	2級通しタイム計測・苦手箇所練習						
第8回	2級試験対策	2級通し タイム計測						
第9回	模擬試験	JMA2級模擬試験実施						
第10回	日本メイクアップ技術検定2級試験	JMA2級検定試験						
第11回	イメージメイク理論	イメージメイクコラージュ						
第12回	イメージメイク 顔分析	顔分析・キュートORフレッシュメイク						
第13回	イメージメイク	顔分析・クールORエレガントメイク						
第14回	期末試験対策	顔分析をしモデルに合ったイメージにメイクをする						
第15回	期末試験	期末試験実施						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 (1)期末試験を実施する (2)授業内で小テストを数回実施する (3)授業内で課題を提出する 以上を下記の観点・割合で評価する。なお出席率が80%に満たないものには単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		70	秀(S):100点～90点
小テスト	◎	○	◎		◎		20	優(A):89点～80点
宿題授業外レポート							評価なし	良(B):79点～70点
授業態度			○	○			10	可(D):69点～60点
発表・作品							評価なし	不可(E):59点以下
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			